



おもちゃ箱plus 事業者における児童発達支援自己評価結果

公開日：2026年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6			建物の構造上、バリアフリー化は難しい。それをカバーできるようにしている。(階段の上り下りは児童と手を繋ぐなど。)
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		消毒こまめに行う。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		毎朝ミーティングの継続。	スタッフ1人1人との会話も大事にしていく。(みんなでと個別で、うまく補っていく)
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	/	/		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		研修受講体制にバラつきがあるので、バランスよく参加できるように取り組みたい。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		関係者で集まり、話し合って作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		モニタリングで必要な支援は何か話し合っスタッフに共有している。	一番必要な支援を中心に、5領域をバランスよく、もっと保護者にわかりやすいよう作成していく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		関係者での話し合いで長期目標を決め、そこから短期目標を決め具体的な支援を考えている。	本人の想いが一番。でも、思いを伝えられない児童も多いので、保護者の要望意見を取り入れながら、より具体的な支援を考えていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	スタッフで行っている。	新しいスタッフにもきちんと話がいきわたるように話し合いを重ねる。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	1		いろんな角度から、もっと沢山組み立てたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		日々の日誌は細かく記録をとるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		基本児発管参加。サービスに問題ない時間帯であれば現場スタッフが同行する。(同行できない場合は、前もって話を聞いて文書でまとめたものを共有する)
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1		個人情報を守られる時代なので、なかなか難しい。相談員、行政機関に話をする。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		情報提供行える範囲で行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6		移行前に、担任やSSWと一緒に会議、情報共有している。	
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6		研修に積極的にスタッフ交代で参加している。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		お互い交流したいが、感染症が怖いので具体的な話が出来ない。今後、保護者の意向も踏まえ検討していきたい。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		Lineや電話、送迎時にお話をしている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		行政主催のペアトレの参加を促している。	
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		説明を行っている。	

保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点 を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2		コロナ渦により、Lineや電話にて話しが済んでしまう。今年度は保護者会等の取り組みをどうしていくか、保護者と意見交換して進めていきたいと思う。
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			特性にあった支援を考えるために話し合いと、教材、その他いろいろな情報を集めて配慮している。
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		インフル感染が多く、クリスマス会も事業所内で、機会がなかった。来年度は地域住民へも声掛けできたらいいなと思う。
	非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		
43		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
44		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6			
45		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
46		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			安全管理についての話し合いを行い、防犯グッズ等も購入し支援を行っている。
47		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			周知していく。
48		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			窓や玄関の防犯ロック、2重ロック等、色々な対策を行った。
49		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
50		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6			契約時に身体拘束が必要かどうかの確認を保護者に行う。必要な児童については、個別支援計画にもきちんと明記する。（成長過程で必要な場合は保護者と話し合いを設ける）